

11 月 3 日(木曜日)

岸岡山モリメイト「森の音楽会」に招待され鈴鹿へ

【参加者：池本幸、池本美、越智宏、越智美、木谷、芝田香、芝田美、鈴木哲、鈴木明、中 計 10 名】



長年交流を続けている岸岡山モリメイト主催の「森の音楽会」に招待されモリメイト 10 人が鈴鹿へ。

マテバシイの巨木前に特設会場が設けられ地元の千代崎中学校吹奏楽部による演奏が行われた。はつらつとした素晴らしい演奏に参加者は大きな拍手を送っていた。澄み渡った秋空の下、木々の中を心地よい時間が流れていた。



11 月 10 日(木曜日)

シイタケの原木準備とイベントに向けての作業

【参加者：池本、越智宏、越智美、梶川、木谷、芝田香、芝田美、鈴木哲、鈴木明 計 9 名】



植樹して 15 年がたちシイタケの原木にちょうど良い太さになったクヌギの木を伐る。1メートルの長さに切り、40本のシイタケの原木ができた。

この 15 年前に植樹した地にはひこばえが成長してきており、小さな実生から 30 センチメートルぐらいになったクヌギもあちらこちらに出てきていた。シカに食べられた形跡があるのでこの場所を鹿から守るため囲うことにした。今日は、とりあえず杭を

立てロープで囲い、扉をつけるところまで行い、続きはイベントの後の作業とすることにした。

その後、「くぬぎの森づくり」に向けてイベントの時に参加者が話を聞く椅子用の丸太を「カブトムシの森」まで運ぶ、どんぐりを植えるための腐葉土を用意する、看板を立てるなどの作業を行った。



11月17日(木曜日)

【参加者:池本、越智宏、越智美、木谷、梶川、鈴木哲、鈴木明

計 7名】



クヌギの植樹予定地に散在する除伐材を軽トラに積み、職員駐車場の除伐材置き場まで運ぶ。



イベント会場になるカブトムシの森を整備する



晩秋の「カブトムシの森」前の散策路

「カブトムシの森」枯れコナラと密になったところのコナラを除伐し 30本のシイタケの原木を作る。

イベント当日に渡すどんぐりを準備(水に入れ沈んだもの3個ずつを袋に入れる。)



11月20日(日曜日)第8回「くぬぎの森づくり」開催

242号に掲載

11月24日(木曜日) 鹿よけ網を設置・枯れマツの除伐

落ち葉掻きにおいてビートルズベッドの片方をカラにする

【参加者:池本、越智宏、越智美、梶川、木谷、芝田香、芝田美、鈴木哲、鈴木明、中

計 10名】



シイタケの原木用に伐ったクヌギの木の切り株からひこばえが出て成長してきていたが、何本かのひこばえがシカに食べられていた。そこで、この場所の周囲に高さ2メートルくらいの網を張っていった。



その後、サブコテージからカブトムシの森へ向かう散策路沿いの枯れマツを来園者に注意し慎重に除伐した。枯れマツは減ってきているがまだ何本か目に付くのでこれから冬場の作業となってくる。

今年も公園内の散策路には落ち葉が散り積もる季節になった。来週は、落ち葉掻きをしていこうということになったので、落ち葉を入れるビートルズベッドの片方を空にすることにした。一昨年に入れた落ち葉はふかふかのとてもいい腐

葉土になっていた。1時間ほどですべての腐葉土を袋に詰めることができ、底にはびこっていた笹の根も切り取り綺麗にした。同時に腐った枠の木を取り除き、新しい丸太を入れて杭を打ち直し、番線で絞めて修理をした。

落ち葉を入れる準備が完了。

